

2. 令和5年度 トピックス

◆（仮称）中央図書館の第一優先候補地を選定

令和5年3月「豊中市立図書館みらいプラン」で公表した（仮称）中央図書館の3つの候補地について、「豊中市（仮称）中央図書館第一優先候補地選定委員会」で調査審議し、阪急電鉄宝塚線曽根駅前の民有地を第一優先候補地として選定した。

◆ 豊中駅図書サービスポイントを開設



豊中駅図書サービスポイント

令和6年2月に豊中駅図書サービスポイントを阪急電鉄宝塚線豊中駅舎内の北改札口前に開設した。予約資料の受取と資料の返却に特化したサービスを提供し、火曜日から金曜日は10時から20時まで、土曜日と日曜日は10時から17時まで開館している。図書館職員は常駐せず、利用者はセルフ貸出機を使っての利用となる。資料の返却は24時間可能である。

図書サービスポイントを利便性の高い交通結節点に設置することで、図書館を利用していなかった人や利用が難しかった人の利用が促進された。

◆ 「図書館で一時保育～ほっと一息 私の時間～」を試行

令和5年9月より「図書館で一時保育～ほっと一息 私の時間～」の試行を開始した。実施館は岡町、千里、野畑図書館の3館。月に1回午前に2時間、保育士が子どもを預かることで子育て中の方がゆっくりと館内で本を選んだり、読書を楽しんだりするなど、一息つける時間をサポートしている。対象は生後7か月から未就学児、定員は各回4～8人、保育料は550円（税込）。

利用者からは「子どもが生まれてから久しぶりにゆっくり読書ができた」「育休中に資格を取ろうと思い、勉強のために利用した」などの声が寄せられており、読書に親しむ時間になっているとともに、来館するきっかけにもなっている。

令和6年3月からは、キャッシュレス決済への対応も開始している。

試行開始から3月までの申込者数は592人、保育利用者数は72人。申込者のニーズに応えるため、令和6年度からは保育士を増員し、受入人数を拡充する。



図書館で一時保育

◆ 東豊中図書館に飲食可能スペース「もぐもぐ広場」を開設

令和5年7月に飲食可能スペース「もぐもぐ広場」を東豊中図書館の集会室に開設した。小さなお子さんも利用しやすいよう靴を脱いで座れるスペースとローテーブルを設置し、東豊中図書館の開館時間中に誰でも利用できる。



もぐもぐ広場

親子連れや子どもを中心に利用されており、開設から3月末までの利用は、大人530人、子ども772人（延べ人数）となっている。土曜日や日曜日のお昼時には親子の利用が、平日の夕方は子どもの利用が多い。また、図書館フロアの延長として本を読んでいる人も見受けられる。

令和6年1月には利用に関するアンケートを実施。利用実態の把握につとめるとともに、レイアウトの変更など、運用の改善をおこなった。

◆ 野畑図書館に自学自習スペースを開設

令和5年7月に野畑図書館2階の参考室を、参考図書コーナーとして1階へ移設した。参考図書、新聞のバックナンバーや住宅地図を1階へ移設し、複写（コピー）サービスの利用も1階カウンターで受け付けることで、利用者の利便性を高めた。

それにともない、2階の元参考室を自学自習スペースとする機能変更をおこなった。以前は、2階ロビーを自習コーナーとしていたが、その際の吹き抜けや集会室の前であることによる空調や採光、騒音の問題が今回の移設により解消された。利用者層は小学生から高齢者まで幅広く、7月の開設から9か月間で延べ5,500人以上の方に利用されている。



自学自習スペース